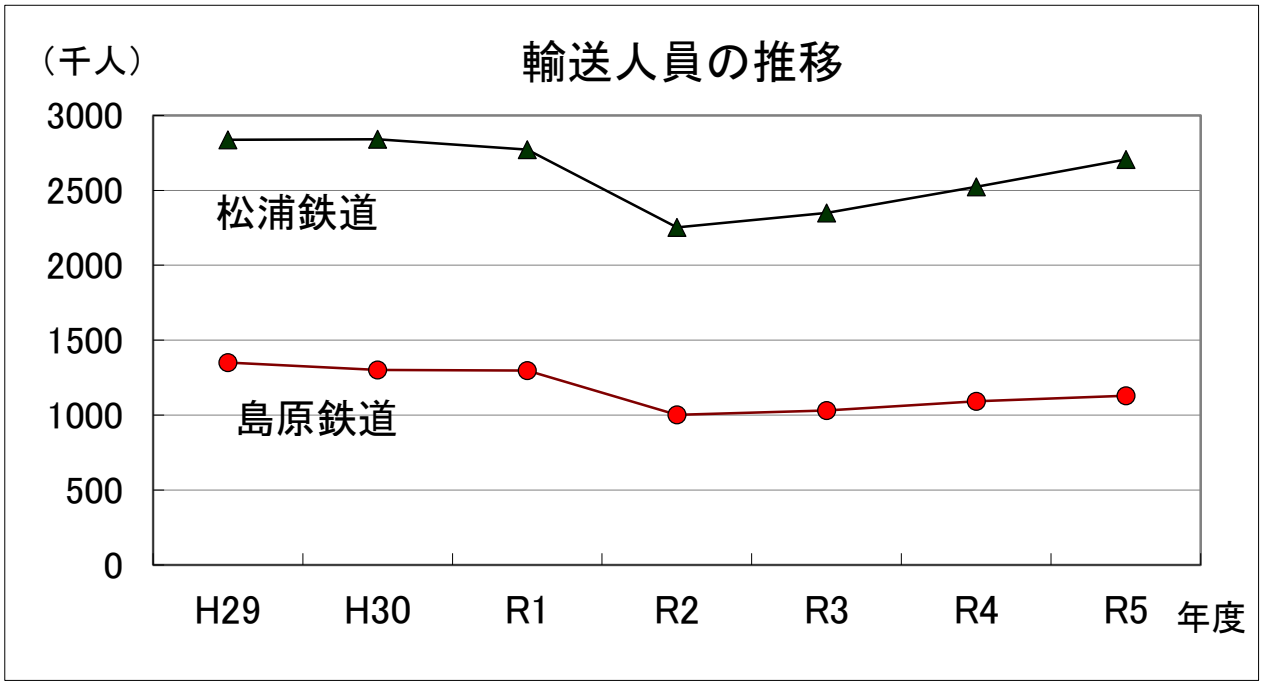
鉄道利用の概況



県内鉄道の緒元

（令和6年4月現在）

鉄道会社		営業キロ (km)	駅数	複線化キロ (km)	複線化率 (%)	電化キロ (km)	電化率 (%)
JR九州	（新幹線）	69.6	5	69.6	100	69.6	100
	（在来線）	135.6	39	8.1	6	36.7	27.1
島原鉄道		43.2	24	－	－	－	－
松浦鉄道		93.8	57	－	－	－	－

※新幹線は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

※松浦鉄道は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

利用者数の推移

（単位：千人）

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
島原鉄道	1,351	1,301	1,297	1,002	1,030	1,092	1,129
松浦鉄道	2,837	2,841	2,773	2,253	2,350	2,524	2,707

※JR九州は非公表

※島原鉄道と松浦鉄道（長崎・佐賀両県）は、全線各駅の輸送人員の合計

本県に路線を有するＪＲ九州、島原鉄道、松浦鉄道は地域の基幹的公共交通機関として、住民生活に必要不可欠な輸送サービスの維持向上に努めている。

各社とも令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく落ち込んだが、５類感染症移行後はインバウンド需要を含め、緩やかに回復しつつある。

ＪＲ九州は、令和４年９月２３日に西九州新幹線が武雄温泉から長崎間で開業し、安全運行を基本として、より一層のサービス向上に努め、鉄道利用促進に取り組んでいる。特に、Ｄ＆Ｓ列車「３６ぷらす３」や「ふたつ星４０４７」の運行や、地域のイベントと連携したＪＲ九州ウォーキングの実施など、地域に密着した顧客サービスの向上を図っている。

島原鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学はもとより、島原半島の観光振興にも重要な役割を果たしており、他地域からの観光利用者を誘客するため観光列車「カフェトレイン」を運行している。同社の輸送人員は、島原半島における少子高齢化の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅に減少したが、５類感染症移行後緩やかに回復し、令和５年度は１，１２９千人で令和元年度比８７．０％となった。

松浦鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学をはじめ、県北地域の生活・観光に欠かすことのできない移動手段となっている。令和２年３月に全国相互利用交通系ＩＣカード（ｎｉｍｏｃａ）を導入したほか、令和３年度には観光列車「レトロン号」のリニューアルや車内で沿線の観光案内放送を開始するなど、利用者の利便性向上にも努めている。同社の輸送人員は平成３０年度までは概ね横ばいで推移し、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅に減少したが、令和５年度は２，７０７千人で、令和元年度比９７．６％まで回復した。

県においては、島原鉄道と松浦鉄道の２社に対し、新型コロナウイルス感染症や燃油価格高騰等に係る支援を実施し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

（県交通政策課）

バス利用の概況

年　度	乗合バス				貸切バス			
	走行キロ（千km）	輸送人員（千人）	対前年比（%）	車両数（両）	走行キロ（千km）	輸送人員（千人）	対前年比（%）	車両数（両）
平成								
21	73,036	88,976	97.1	1,571	16,682	2,483	97.1	539
22	73,498	88,125	99	1,554	16,552	2,445	98.5	555
23	70,961	87,562	99.4	1,568	17,902	2,626	107.4	562
24	71,705	86,255	98.5	1,566	19,311	2,932	111.7	561
25	71,852	85,579	99.2	1,593	20,324	3,088	105.3	576
26	72,516	84,125	98.3	1,575	20,463	3,178	102.9	618
27	71,705	83,646	99.4	1,572	20,600	3,406	107.2	622
28	70,654	81,531	97.5	1,566	17,442	3,478	102.1	667
29	68,992	79,605	97.6	1,590	17,377	3,547	102.0	678
30	67,821	76,977	96.7	1,546	15,221	3,365	94.9	705
令和								
1	64,805	72,656	94.4	1,524	13,345	2,715	80.7	612
2	57,560	56,291	77.5	1,495	3,580	1,129	41.6	560
3	56,067	56,184	99.8	1,414	4,282	1,041	92.2	534
4	52,026	57,326	102.0	1,364	6,977	1,655	159.0	542

バスは、通勤、通学、観光客の足として、また、鉄道駅や空港等との主要なアクセス手段として果たす役割は大きい。特に、高齢化が進み全国で最も離島が多い本県では、地域住民の生活を支える重要な交通手段である。

令和５年３月末現在、県内に本社を置く乗合バス事業者は１４社で、このうち日本で唯一の県営バスである公営企業が１社、民間企業が１３社であり、また１０社が本土地域、４社が離島地域の事業者となっている。

令和４年度の輸送人員は、乗合バスは５７，３２６千人で対前年度比　２．０％の増加、貸切バスは１，６５５千人で対前年度比５９．０％の増加となっている。

バス利用者は少子高齢化やマイカーの普及等により年々減少傾向にあり、バス事業を取り巻く環境は非常に厳しい。バスを含めた地域公共交通の維持・確保を図っていくため、コミュニティバスやデマンドタクシーなど持続可能な地域交通ネットワークの再編検討に取り組み、利用サービスの向上を進める必要がある。

また、令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく落ち込んだこともあり、県においては、定期路線バス事業者や貸切バス事業者に対し事業継続等支援金を交付するなど、地域住民の移動手段の維持・確保に努めているところである。

（県交通政策課）

航空利用の概況

長崎空港利用者数の推移

（単位：人）

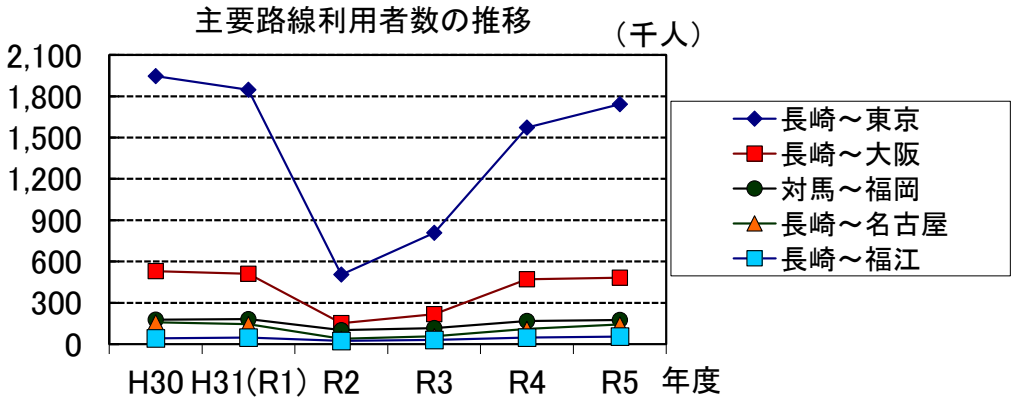
区　　分	30年度	31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
国内線	3,145,370	3,040,811	875,218	1,315,285	2,532,582	2,813,484
国際（定期）線	66,356	51,132	0	0	0	3,809
国際チャーター便	1,859	15,448	2	0	126	30
乳幼児	55,902	51,645	13,414	21,681	40,363	44,905
計	3,269,487	3,159,036	888,634	1,336,966	2,573,071	2,862,228

主要路線利用者数の推移

（単位：人）

区　　分	30年度	31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
長崎～東京	1,946,200	1,846,792	504,421	807,436	1,572,435	1,741,930
長崎～大阪	529,728	510,314	151,995	216,865	470,920	482,130
対馬～福岡	177,486	182,132	102,102	115,735	167,199	176,068
長崎～名古屋	158,651	145,050	39,178	57,495	109,910	143,947
長崎～福江	43,050	48,771	23,932	31,049	48,631	54,855

注）路線別利用者数に乳幼児は含まない。



本県における航空の歴史は、昭和３５年４月、大村空港を国管理空港（旧第二種空港）として供用開始したことに始まり、昭和５０年には世界初の本格的な海上空港「長崎空港」として生まれ変わり、さらに昭和５５年には滑走路が２，５００ｍから３，０００ｍに延長された。県内には長崎空港のほか、五島つばき空港、壱岐空港、対馬やまねこ空港の４空港に定期便が就航しており、全国の主要都市をはじめ本土と離島とを結ぶ航空網を形成している。

長崎空港は本県の空の玄関口として、国内線は東京(羽田、成田）、大阪（伊丹、神戸、関西）、名古屋（中部）、県内離島の９路線３６便、国際線は上海（浦東）・香港の２路線週５便となっている。令和５年度の長崎空港の利用者数は、国内線・国内線合わせて、2,862,228人で、新型コロナウイルス感染症の影響を全く受けていない平成30年度と比較すると国内線で89.3%、国際線5.6%、全体で、87.5%であった（令和４年度比国内線111.1%、国際線3055.6%、全体111.2%）。国際線は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和２年２月から上海線、３月から香港線の運休が続いていた中、令和５年10月30日から上海線が再開した。

また、離島の空港は、五島つばき空港と対馬やまねこ空港は長崎と福岡、壱岐空港は長崎と結ばれており、令和５年度の利用者数は464千人で、平成30年度比102.5%と 新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、生活路線としての役割を果たしている。

※　路線数及び便数は令和６年５月１日現在の数字。

（県交通政策課）

海運（船舶）利用の概況

定期航路利用の概要

（国内）　（単位:千人、千台）

区　　分		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
離島航路	旅客数	3,866	2,465	2,590	3,079	3,270
	車両数	400	300	316	344	368
本土間航路	旅客数	1,634	704	816	1,182	1,364
	車両数	618	378	414	526	566
計	旅客数	5,500	3,169	3,406	4,261	4,634
	車両数	1,018	678	729	870	934

注）平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

（国際）　（単位:人）

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
対馬～釜山航路利用者数	308,928	0	0	4,963	328,471

本県における国内定期航路数は令和６年１２月末現在３８航路あり、このうち離島定期航路数は３３航路である。（休止中の航路を除く）

定期航路の令和５年度利用状況は、前年度と比較して回復したものの、旅客数は４，６３４千人でコロナ禍前の令和元年度と比較すると８４．３％に留まっており、このうち離島航路は３，２７０千人で令和元年度比８４．６％となった。車両航送台数は９３４千台で令和元年度比９１．７％、このうち離島航路は３６８千台で令和元年度比９２．０％となった。

離島・半島地域の人口減少や少子高齢化による利用者の減少に加え、燃料等高騰の影響を受けて航路事業者を取り巻く環境が厳しくなっている中、県においては、離島航路維持に向けて離島航路事業対策補助金や燃料価格高騰に係る支援等を実施し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

また、国際定期航路については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度末から運休していたが、令和５年２月に、運航事業者２社が比田勝～釜山航路を再開し、令和５年度の利用者数は３２８，４７１人となった。

なお、厳原～釜山航路については、令和６年４月に運航が再開し、令和６年１２月時点で１社が運航中である。

（県交通政策課）

64 道　　路

(1)　実延長　　単位：km

年次	実延長				＃道路延長			
	総数	国道	県道	市町道	総数	国道	県道	市町道
令和 2 年	17,821	763	1,685	15,373	17,622	715	1,622	15,285
3	17,822	760	1,681	15,381	17,624	712	1,619	15,293
4	17,836	760	1,686	15,390	17,636	711	1,623	15,302
5	17,859	760	1,696	15,403	17,655	711	1,629	15,315
6	**17,856**	**761**	**1,693**	**15,402**	**17,649**	**711**	**1,625**	**15,313**

注）1.各年４月１日現在。
　　2.国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。

(2)　道路現況　（令和6年4月1日現在）　　単位：km

区分	総数	国道	県道	市町道
実延長	17,856	761	1,693	15,402
路面別	17,856	761	1,693	15,402
砂利道	1,171	0	16	1,155
舗装道	16,685	761	1,677	14,247
種類別	17,856	761	1,693	15,402
道路延長	17,649	711	1,625	15,313
橋りょう延長	137	25	32	80
トンネル延長	70	25	36	9
改良・未改良別	17,856	761	1,693	15,402
改良済	10,038	737	1,340	7,961
未改良	7,818	24	353	7,441
(#)自動車交通不能	2,320	0	23	2,297

注）　国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。
資料　県道路建設課調

64　道　路　(続)

(3) 橋りょう　　単位：個、m

区分	令和3年		4年		5年		6年	
	個数	延長	個数	延長	個数	延長	**個数**	**延長**
総数	1,594	55,801	1,598	55,906	1,605	56,741	1,608	56,995
鋼橋	125	17,857	125	17,857	126	17,904	127	18,138
石橋およびコンクリート橋	1,432	33,485	1,436	33,590	1,441	34,337	1,443	34,356
木橋	1	5	1	5	1	5	1	5
鋼橋とコンクリート橋との混合橋	36	4,454	36	4,454	37	4,495	37	4,496
鋼橋又はコンクリート橋と木橋又は石橋との混合橋	－	－	－	－	－	－	－	－

資料　県道路建設課調

(4) 有料道路の利用状況　　単位：台／日

年度	長崎自動車道インターチェンジ別出入交通量						長崎バイパス出入交通量	
	長崎	芒塚	長崎多良見	諫早	大村	東そのぎ		# 川平有料道路
令和 3 年度	11,068	1,963	13,384	16,345	9,409	4,739	34,702	15,188
4	12,790	2,270	15,143	18,879	10,685	5,124	36,090	15,886
5	**13,804**	**2,431**	**16,247**	**20,327**	**11,383**	**5,380**	**36,923**	**16,337**

年度	西九州自動車道出入交通量				ながさき出島道路出入交通量	西海パールライン有料道路出入交通量	ながさき女神大橋道路出入交通量
	佐世保三川内IC本線料金所通過	佐世保三川内IC出入	佐世保大塔IC本線料金所通過	佐世保大塔IC出入			
令和 3 年度	6,767	2,806	5,092	20,436	6,557	7,167	8,003
4	7,914	3,078	5,783	20,544	7,799	7,247	7,974
5	**8,361**	**3,201**	**6,086**	**20,346**	**8,539**	**7,362**	**8,127**

資料　西日本高速道路㈱調、長崎県道路公社ホームページ

65　保　有　車　両　数

単位：両

年度末	総数	登録車両					
		計	貨物用				被牽引車
			普通車	小型車			
				四輪	三輪		
令和　元　年度末	924,735	407,637	19,127	28,579	13		574
2	927,300	407,453	19,281	28,519	14		598
3	956,352	405,614	19,472	28,381	14		631
4	927,966	404,458	19,689	28,425	14		668
5	**928,290**	**403,321**	**19,827**	**28,350**	**14**		**736**

年度末	登録車両（続き）					
	乗合	乗用		特種用途		大型特殊車
		普通車	小型車	普通車	小型車	
令和　元　年度末	4,330	152,280	185,351	13,006	1,693	2,684
2	4,201	156,381	181,014	13,038	1,718	2,689
3	4,032	159,126	176,525	12,995	1,753	2,685
4	3,918	162,027	172,375	12,947	1,732	2,677
5	**3,835**	**166,213**	**166,997**	**12,961**	**1,724**	**2,664**

年度末	新規検査	届出車両（軽自動車）				
	小型二輪車	計	四輪			三輪
			貨物用	乗用	特種	
令和　元　年度末	16,655	500,443	135,613	362,886	1,928	16
2	17,252	502,595	135,676	364,999	1,907	13
3	17,803	502,991	135,781	365,291	1,907	12
4	18,401	505,107	136,199	366,937	1,925	15
5	**18,816**	**506,153**	**136,274**	**367,875**	**1,959**	**14**

資料　九州運輸局「自動車保有車両数」、長崎県軽自動車協会調

66 鉄 道 運 輸

単位：人、 t

年度	旅客 乗車人員 普通	旅客 乗車人員 定期	旅客 降車人員	貨物（コンテナ・車扱） 発送	貨物（コンテナ・車扱） 到着
	九州旅客鉄道㈱			日本貨物鉄道㈱九州支社	
令和 元 年度	…	…	…	27,250	31,830
2	…	…	…	23,110	30,986
3	…	…	…	23,996	27,849
4	…	…	…	27,737	27,143
5	**…**	**…**	**…**	**24,926**	**25,733**
	島原鉄道				
令和 元 年度	546,154	751,140	1,297,294	－	－
2	370,369	631,860	1,002,229	－	－
3	409,063	621,720	1,030,783	－	－
4	474,381	617,220	1,091,601	－	－
5	**514,560**	**614,880**	**1,129,440**	**－**	**－**
	松浦鉄道				
令和 元 年度	834,146	1,367,153	2,204,371	－	－
2	616,394	1,178,044	1,796,645	－	－
3	631,998	1,239,610	1,873,919	－	－
4	832,383	1,246,120	2,075,521	－	－
5	**893,756**	**1,350,806**	**2,248,462**	**－**	**－**

注）1. 松浦鉄道は長崎・佐賀両県で営業しているが、長崎県分のみ計上。
2. 日本貨物鉄道㈱九州支社は長崎駅分のみ計上。
3. 九州旅客鉄道㈱は平成29年度分から非公表。

資料　九州旅客鉄道（株）、島原鉄道、松浦鉄道、日本貨物鉄道（株）九州支社調

67 乗 合 自 動 車 輸 送

単位：km、人

年度	乗合 走行キロ	乗合 輸送人員	乗合 輸送人員 # 定期	貸切 走行キロ	貸切 輸送人員
令和 元 年度	64,316,066	72,536,855	21,929,178	11,549,013	2,561,774
2	58,005,923	56,228,499	19,261,087	3,370,127	1,080,866
3	56,174,092	56,090,089	19,019,269	4,032,847	994,964
4	51,738,761	57,211,582	18,580,950	6,602,520	1,369,706
5	**50,171,919**	**57,758,650**	**18,148,377**	**7,918,379**	**1,638,742**

資料（一社）長崎県バス協会調

68　航　空　便　利　用　状　況

(1)　定期便　　単位：人

年次	総数		東京線（羽田）		東京線（成田）		大阪線（伊丹）	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 3 年度	746,690	748,881	340,210	350,165	57,817	59,244	79,927	81,792
4	1,391,680	1,412,310	667,837	694,802	104,065	105,740	165,720	170,044
5	**1,547,381**	**1,562,994**	**802,351**	**826,564**	**56,741**	**56,274**	**184,075**	**187,003**

年次	名古屋線(中部)		神戸線		大阪線（関西）		沖縄線	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 3 年度	29,085	28,410	61,239	59,281	28,109	27,037	627	604
4	54,379	55,531	114,666	118,869	69,254	65,950	424	555
5	**71,138**	**72,809**	**142,604**	**146,067**	**56,871**	**54,181**	**－**	**－**

年次	福江線		壱岐線		対馬線		韓国線	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 3 年度	16,231	14,818	12,315	13,222	26,970	26,495	－	－
4	26,552	22,079	15,665	17,406	31,283	30,664	－	－
5	**28,791**	**26,064**	**16,479**	**17,825**	**33,331**	**33,075**	**－**	**－**

年次	中国線（香港）		中国線（上海）		対馬～福岡		福江～福岡	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
令和 3 年度	－	－	－	－	59,501	56,234	34,659	31,579
4	－	－	－	－	85,908	81,291	55,927	49,379
5	**－**	**－**	**1,815**	**1,994**	**90,532**	**85,536**	**62,653**	**55,602**

注）乗降客は有償利用者である。

(2)　長崎空港国内チャーター便　単位　便、人

年次	総数	
	便数	人員
令和 3 年度	38	1,684
4	25	1,097
5	**17**	**1,241**

(3)　長崎空港国際チャーター便　　単位　便、人

年次	総数		ソウル		台北・高雄		その他	
	便数	人員	便数	人員	便数	人員	便数	人員
令和 3 年度	－	－	－	－	－	－	－	－
4	4	126	－	－	－	－	4	126
5	**6**	**30**	**－**	**－**	**－**	**－**	**6**	**30**

注）乗降客は有償利用者数である。
資料　県交通政策課調

69　船　舶　乗　降　人　員

単位：人

年　次	乗　込　人　員			上　陸　人　員		
	総　数	＃長崎港	＃佐世保港	総　数	＃長崎港	＃佐世保港
令和　元　年	4,730,847	1,198,359	488,801	4,744,739	1,209,198	495,460
2	2,321,971	351,330	226,567	2,306,072	357,347	229,075
3	2,180,679	297,338	221,850	2,175,363	299,563	221,208
4	2,664,384	450,155	240,819	2,679,019	459,191	243,510
5	**3,393,313**	**670,673**	**289,937**	**3,394,363**	**678,290**	**292,329**

注）総数は県内38港の合計である。
資料　国土交通省「港湾統計（年報）」

70　電話及び携帯電話等契約数

（1）電話契約数（各年3月31日現在）

年	加入電話			1）　公衆電話	
	総数	2)事務用	住宅用	アナログ	デジタル
	回線	回線	回線	個	個
令　和　4　年	197,239	36,803	160,436	1,180	386
5	179,244	34,012	145,232	1,093	337
6	**164,398**	**31,856**	**132,542**	**1,000**	**297**

1)設置台数。　2）ビル電話を含む。
資料　ＮＴＴ西日本「電気通信役務契約等状況報告」

（2）携帯電話等契約数　（各年3月末現在）　　単位：契約

年	携帯電話	ＩＳＤＮ（総合デジタル通信サービス）	ＢＷＡ	ＦＴＴＨ	ＤＳＬ	ＣＡＴＶ	ＦＷＡ
令　和　4　年	1,342,631	15,718	485,352	303,474	13,224	46,474	43
5	1,322,342	13,770	459,747	331,041	6,530	43,042	33
6	**1,327,044**	**11,985**	**449,788**	**340,908**	**5,156**	**39,242**	**26**

資料　ＮＴＴ西日本「電気通信役務契約等状況報告」総務省「情報通信統計」

71 効力別旅券発給件数

単位：件

効力別	令和元年	2年	3年	4年	**5年**
発給件数	29,577	6,987	2,588	6,388	**21,917**
数次往復用	29,575	6,985	2,588	6,388	**21,915**
新規	29,575	6,985	2,588	6,388	**21,915**
再発給	－	－	－	－	**－**
限定	2	2	－	1	**2**
新規	2	2	－	1	**2**
再発給	－	－	－	－	**－**

資料　県県民センター調

72 放送受信契約数・衛星契約数

（各年3月末現在）

年次	世帯数	放送受信契約数	衛星契約数（再掲）
		契約数	契約数
令和2年	559,378	518,998	215,353
3	556,715	515,144	212,078
4	555,182	512,434	210,014
5	556,679	506,761	207,153
6	**556,491**	**500,201**	**205,519**

注）世帯数は各年4月1日現在。
資料　日本放送協会「放送受信契約数統計要覧」、県統計課「長崎県異動人口調査」